



| | | | | | | |
|---------------|--|---------------------------|------------|---|--|---------------------|
| 企業・団体名 | 一般社団法人 宮城県建設業協会 | | 事業内容 | 県内地元本社の建設業企業で組織する建設業団体。 建設事業を通じて地域並びに住民の安全・安心で快適な暮らしを支える活動を展開。 | | |
| 連絡先 | 住所 | 〒 980-0824 仙台市青葉区支倉町2番48号 | | | | |
| | Tel | 022-262-2211 | 8:30~17:30 | Fax | 022-263-7059 | 担当者 専務理事兼事務局長 西村 博英 |
| 支援可能対象団体 | 【職場見学】 特に制限なし 【就業体験】 小学校 中学校 高等学校 【講師・指導者の派遣】 幼稚園・保育所・認定こども園 小学校 中学校 高等学校 子ども会育成会 PTA その他協働教育活動団体 | | | 支援可能人数 | 【職場見学】 地域や現場規模によって大規模受け入れから20名程度までと変動があります。 【就業体験】 1現場(企業)あたり5名以内を希望致しますが、複数現場に分散すればそれ以上も可 【講師・指導者の派遣】 ワークショップは1クラス程度迄 | |
| 支援可能地区 | 全 県 | | | 支援可能時期 | 【職場見学】【就業体験】 【講師・指導者の派遣】 全て随時受付 | |
| 支援分野 | 【職場見学】【就業体験】 建築・建設・土木などに関すること 【講師・指導者の派遣】 安心・安全に関すること 交通に関すること 建築・建設・土木などに関すること その他 | | | | | |
| 支援内容 | 【職場見学】 地元本社の元請会員企業が施工する建設(建築・土木)現場を担当者の説明を聞きながら見学が可能です。建設重機搭乗体験やドローンでの空撮見学等、ICTやIoTの活用が進む建設現場を見学することができます。内容は希望に添うように現場を選定し時間設定についても期待に応えます。 【就業体験】 地元本社の元請会員企業が施工する建設(建築・土木)現場を担当者の説明を聞き建設現場、並びに建設会社事務所での就業を体験することが可能です。実際の建設業での現場就業も参加者のニーズに応え選定致します。時間についても実態に合わせ複数日程も含め対応致します。 【講師・指導者の派遣】 テーマ:建設なぜなぜクイズ(そうだったのか?) ○道路編 ※今後 河川編, 建築編等テキストを作成する予定 内 容:身近なのに意外と知らない建設にまつわる不思議をクイズ形式選択制で、説明致します。現在、道路編を作成し、今後、バージョンを増やしていく予定です。※クイズ形式は小学生までを考えております。 ○道路をよく見ると「かまぼこがた」になっているのはなぜ? ○道路にはたくさんの種類がありますが、ない道路はどれかな? テーマ:ワークショップ体験(ものづくり体験) 内 容:建設にまつわる土やコンクリートを使っの「光る泥だんご作り」「ペーパーウエイト作り」を体験します。 | | | | | |
| 過去の支援例 | 【職場見学】 中高大学生の受け入れをこれまで実施していましたが、小学生とその保護者、家族や一般向けの現場見学会も実施しております。昨年の夏休みは県内6カ所で小学生の現場見学会を一般公募により実施致しました。特に、宮城県農業高校建設現場の見学会にあっては小学生とその保護者に加え、在学中の宮農生徒と先生も合同で見学会を実施しております。 【就業体験】 高校生のインターンシップ等は工業高校を中心に3日間の受け入れを平成7年度より実施。仙台第一中学校等の中学生は4日間で対応しております。 【講師・指導者の派遣】 中学校以上については、建設業の理解促進のための就活ゼミを東北地方整備局と一緒に展開しております。各依頼を受けて東日本大震災における地域建設業の活動を紹介する講師を行っております。 2016小学生と保護者のための夏休み宿題★自由研究大作戦(日本能率協会主催)に出展し、もの作りのワークショップを展開しております。 | | | | | |
| 支援にあたり特記・注意事項 | 【職場見学】 子どもたちの見学にあたっては引率担当者をお願い致します。 安全面から現場見学に適したサービスをお願い致します。(ヘルメット等は当方で準備致します) 【就業体験】 安全面から建設就労に適したサービスをお願い致します。 【講師・指導者の派遣】 ワークショップ体験については、小学生までとして事前準備が必要となります。 | | | | | |
| 業務の紹介やPR | 災害対策基本法に基づく宮城県の指定地方公共機関として、東日本大震災での道路啓開・復旧作業や災害時における応急対応、平成29年3月栗原市で発生した「高病原性鳥インフルエンザ」防疫措置における埋却作業等も組織を挙げ対応。 建設業の魅力発信のため、現場の見える化による子供と保護者による現場見学・体験会や夏休みのワークショップイベントに企画し、もの作り体験も提供する。 | | | | | |
| ホームページ | http://www.miyakenkyo.or.jp/ | | | | | |